

**検品工程と画像調整を自動化する imagePRESS 向け新ユニットを発売
印刷業務の省力化や安定した印刷品質の実現に貢献**

キヤノンは、プロダクションプリンター「imagePRESS（イメージプレス）」シリーズの旗艦モデル「imagePRESS C10010VP/C9010VP」（2020年10月発売）の新ユニットとして、検品工程を自動化する“インスペクションユニット・A1^{*1}”および画像調整を自動化する“センシングユニット・A1^{*2}”を2021年5月下旬に発売します。



imagePRESS C10010VP（インスペクションユニット・A1/センシングユニット・A1 装着）

カタログやパンフレットなどの商業印刷物は、汚れや表裏の位置ずれ、色味の違いに対するお客様の要求が高く、より高精度な検品や画像調整が必要とされています。一方で、お客様に納品する前の検品工程において、印刷画像の目視確認や出力欠陥のあるページの再印刷など、検査作業と回復作業に多くの人手と時間がかかっています。また、安定して高品質な成果物を制作するためには、オペレーターの熟練したスキルと印刷前や印刷中の画像調整に多くの作業時間を要するという課題があります。

新ユニット“インスペクションユニット・A1/センシングユニット・A1”は、高画質・高生産性・幅広い用紙対応力が特長の「imagePRESS C10010VP/C9010VP」との組み合わせにより、印刷業界の課題を解決し、作業の大幅な省力化や安定した印刷品質の実現に貢献します。

■ 検品工程の自動化により印刷物の検査と再印刷作業を大幅に省力化

“インスペクションユニット・A1”は、色抜けや画像ずれ、角折れなどのさまざまな出力欠陥を検出し、専用のトレイに自動で排出します。直径0.2mmの微小サイズの画像欠陥を検出する高い検出精度に加え、ページ内で領域を指定してそれぞれの領域で要求される品質に対応した検査合格基準を設定することができ、お客様の多様なニーズに応じた基準による画像の検査が可能です。出力欠陥により排出されたページの再印刷処理も自動で実行し、生産性を落とすことなく自動検品作業を行うことができ、印刷後の目視検査や再印刷作業の大幅な省力化を実現します。

■ 印刷物の表裏の画像位置と色味の調整作業を自動化し作業の手間や時間を削減

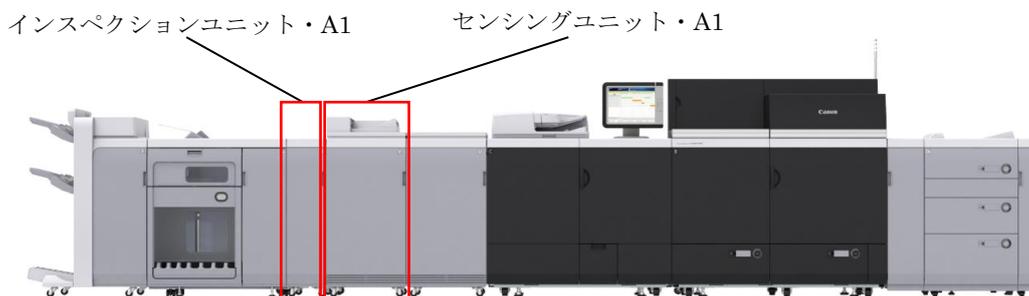
“センシングユニット・A1”は、これまで人手に頼っていた表裏の画像位置や色味の調整作業を自動で行います。また、印刷中も常に最適な状態を維持するために、表裏の画像位置や色味を設定と比較し、自動補正しながら印刷を行います。オペレーターの手間や作業時間を削減するとともに、印刷開始から終了まで、オペレーターのスキルに依存しない高品位な印刷を安定して実現します。

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
インスペクションユニット・A1	280万円	2021年5月下旬
センシングユニット・A1	240万円	2021年5月下旬

※1 使用時は、クリーニングユニット・A1、インスペクションコントローラー・A1、電源ケーブル100V（すべて別売り）が必要。また、出力欠陥のあるページの自動排出機能の使用には大容量スタッカー・H1（別売り）が必要。

※2 使用時は、クリーニングユニット・A1、電源ケーブル100V（ともに別売り）が必要。

<システム構成>



<主な特長>

1. 検品工程の自動化により印刷物の検査と再印刷作業を大幅に省力化

- ・“インスペクションユニット・A1”は、色抜けや画像ずれ、角折れなど、さまざまな出力欠陥を検出し、不適合ページ用の専用トレイに自動で排出。直径0.2mmの微小サイズの画像欠陥も出力速度を落とすことなく検出可能。
- ・ページ内で領域を指定し、それぞれの領域で要求される品質に対応した検査合格基準の設定が可能。カタログにおける商品写真や人物の顔といった重要な個所には高い基準、背景などその他の部分は通常の基準を適用するなど、お客様のニーズに応じた基準での画像検査に対応。
- ・出力欠陥により排出されたページの再印刷処理は自動で実行され、生産性を落とすことなく自動検品作業を実行することが可能。印刷後の目視確認や再印刷作業を大幅に省力化することで、成果物の短納期化に貢献。



不適合ページ用の専用排出トレイ



直径0.2mmの微小サイズの画像欠陥も検出可能

必要機器構成

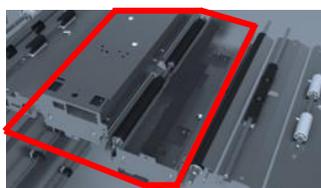
製品名	希望小売価格 (税別)	合計	発売日
インスペクションユニット・A1	280万円	740万円	2021年5月下旬
インスペクションコントローラー・A1	320万円		
クリーニングユニット・A1	140万円		

* 使用時は、上記製品のほか、電源ケーブル100V（別売り）が必要。また、出力欠陥のあるページの自動排出機能の使用には大容量スタッカー・H1（別売り）が必要。

2. 印刷物の表裏の画像位置と色味の調整作業を自動化し作業の手間や時間を削減

- ・“センシングユニット・A1”は、印刷された画像を読み込むコンタクトイメージセンサー（CIS）と分光センサーの2つのセンサーを内蔵し、これまで人手に頼っていた表裏の画像位置や色味の調整作業を自動で行い、オペレーターのス킬に依存しない、高品質な印刷を安定して実現。
- ・印刷前にオペレーターが調整用のボタンを押下するだけで、従来は人の手で行っていた画像位置を示すレジマークや、色味を示すカラーパターンの印刷、読み込み、補正までの作業を自動で実行可能。表裏の画像位置と色味の調整作業が誰でも簡単に行うことができ、印刷開始時におけるオペレーターの手間や作業時間を削減。
- ・印刷中も表裏の画像位置や色味を常に最適な状態で維持するために、各印刷用紙の余白にレジマークとカラーパターンを印刷し読み込むことで、表裏の画像位置や色味を設定と比較し、自動補正しながら印刷することが可能。オペレーターの手間をかけずに印刷開始から終了まで安定して高品質な印刷画像を維持。

表裏の画像位置や色味の読み込みを行うセンサー



コンタクトイメージセンサー（CIS）



分光センサー

必要機器構成

製品名	希望小売価格 (税別)	合計	発売日
センシングユニット・A1	240万円	380万円	2021年5月下旬
クーリングユニット・A1	140万円		

* 使用時は、上記製品のほか、電源ケーブル 100V（別売り）が必要。

<ご参考>

2021年2月8日（月）から28日（日）に開催される国内最大規模の印刷・メディアビジネスの総合イベント「page2021 オンライン展示会」で“インスペクションユニット・A1/センシングユニット・A1”を紹介します。

URL：<https://page.jagat.or.jp/online.html>

<カラープロダクションプリンターの市場動向>

近年、市場ではポスターやカタログなどのグラフィックアーツの短納期やオンデマンド印刷、バリアブルデータ印刷への需要がますます強まっています。そのため、高い生産性や正確な色再現性、色安定性に加え、幅広い用紙への対応など、プロダクションプリンターに対する市場の要求はより高まっています。カラープロダクション市場向けカラープリンターの2020年の市場規模は世界市場で約5万台の規模になると予想しています。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。